

平成 24 年（2012 年）の鳴子の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しました。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、2）

3 月 19 日に実施した現地調査では、前回（平成 13 年 12 月実施）と比較して胡桃ヶ岳南西山麓の噴気地熱域の高温域¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

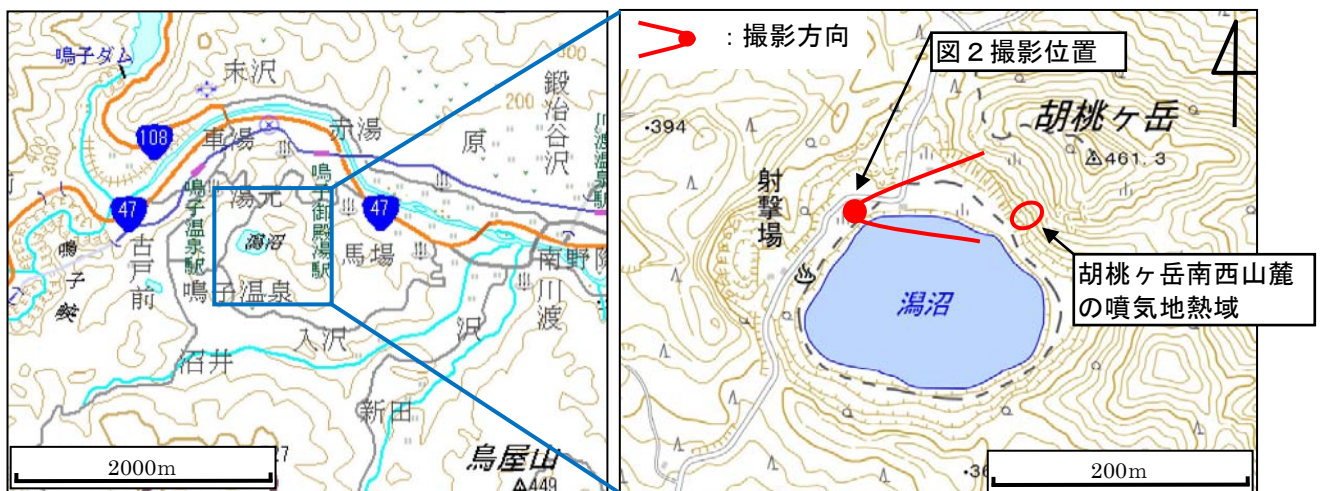


図 1 鳴子 地形図と図 2 の撮影位置

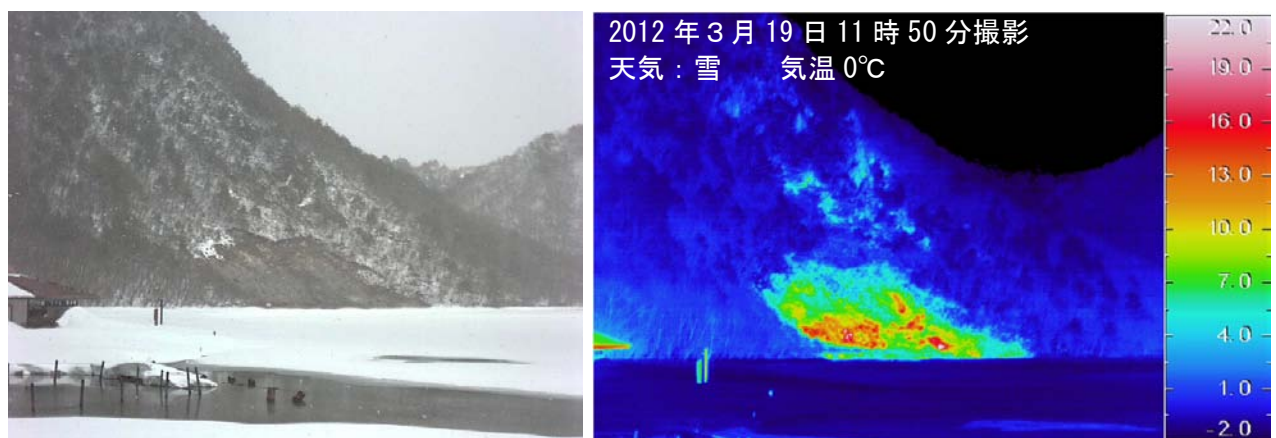


図 2 鳴子 胡桃ヶ岳南西山麓の可視画像と地表面温度分布¹⁾
(2012 年 3 月 19 日撮影 左：可視画像 右：赤外画像)
・高温域¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 23 情複、第 492 号）。